

JAPAN PET FOOD ASSOCIATION

LOGOMARK

Design Manual



はじめに

当協会は、真に会員様および顧客のお役に立ち、信頼される協会をめざし、
今日まで着実に成長してきました。

ペットとの共生がもたらす恩恵を広く社会に発信していくと共に、
人々の暮らしに浸透させ、その恩恵を享受できるよう、
さまざまな活動に取り組み、社会貢献を果たしていくことを使命、理念としています。

これからも協会の活動への理解と浸透のために、
当協会を視覚的に象徴化し、さらに多くの方々とコミュニケーションしていくために、
シンボルとなるロゴマークを導入しました。

このマニュアルは、当協会のコミュニケーション媒体にロゴマークを展開するために編集された手引書です。

制作担当者の方々は、このマニュアルを活用し、
一貫性があり、クオリティの高い協会イメージを確立していくようお願いいたします。

マーク



マークは、人とペットが支え合う心豊かな暮らしが、社会へ
広く浸透していく様子を躍動感あふれるデザインで表現し
ました。全体のフォルムはPetの頭文字Pを表しています。
カラーは、温かさや品格を兼ね備えた、明るいエンジ色を
採用しています。

このロゴマークは、一般社団法人ペットフード協会の広報・宣伝用に
使用されるもので、当ロゴマークが表示された製品等の品質を保証
するものではありません。

一般社団法人ペットフード協会 ロゴマーク使用規定

マークおよびロゴタイプを組み合わせたロゴマークには、使用規定(使用カラー/最小使用サイズ/クリアスペース)が設けられています。一般社団法人ペットフード協会の象徴として、独自性の確保と識別性を高めるため、表示する場合には、P2/P3の使用規定、P4の使用禁止例の内容をよく理解し、遵守してください。

■ロゴマーク基本形



■和文ロゴタイプ

一般社団法人 ペットフード協会

■英文ロゴタイプ

JAPAN PET FOOD ASSOCIATION

■カラー



C:25%+M:100%+Y:100%
RGB=R192/G25/B32
DIC:2491



BK:100%

■最小使用サイズ



■クリアスペース

ロゴマークの象徴性、識別性を高めるため、ロゴマークの周囲に規定の余白(クリアスペース)を設け、他の要素と明確に分離して表示してください。

※クリアスペースの基準はマーク上部の円の直径Aを基準値として、ロゴマークの天地左右のスペースに $\frac{1}{2}A$ を最低接近距離とした余白を設け、これより内側には他の表記要素を加えてはいけません。(英文表記も共通)



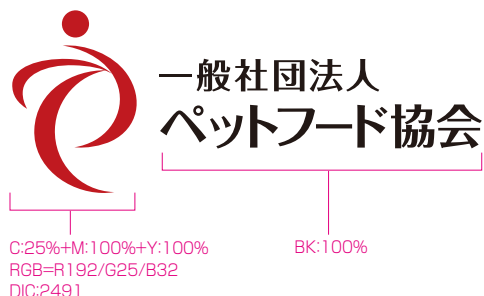
■基本形A(マークと和文ロゴタイプとの組合せ)



■基本形B(マークと英文ロゴタイプとの組合せ)



■フルカラー表現



■単色表現



■ネガティブ表現(白抜き)



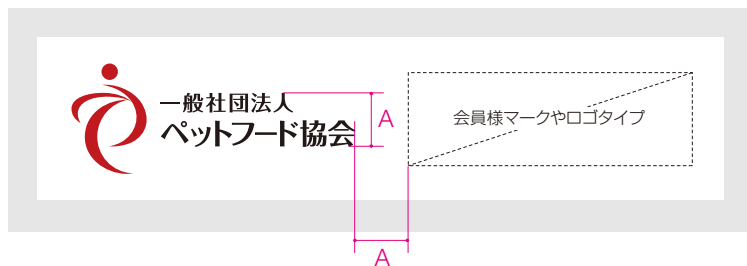
■ロゴマークと会員様のマークやロゴタイプとのアイソレーション

[独立性を保つための余白] ロゴマークが一定の効果をもつためには、会員様のマークやロゴタイプに対してある程度の距離を保たなければなりません。下記に設定した範囲内には会員様のマークやロゴタイプが侵入しないように注意してください。

Type1



Type2



※アイソレーションの基準はロゴタイプの天地Aを基準値として、Type1はマークの下のスペースにAを最低接近距離とした余白を設け、Type2は、ロゴタイプの右端からのスペースにAを最低接近距離とした余白を設けます。これによりマークおよびロゴタイプの独立性が保たれます。(英文表記も共通)

一般社団法人ペットフード協会 ロゴマーク&ロゴタイプ使用禁止例

ロゴマークおよびロゴタイプは、規定通りの正しい形で表示してください。
 ロゴマークおよびロゴタイプは長期にわたって統一的使用することにより、ペットフード協会のイメージを確立し、市場に広く浸透することができます。
 誤用のないように代表的な禁止例を示しましたので、参考としてください。

■ロゴマーク使用禁止例（※英文ロゴタイプの場合も同様の禁止例です。）



形状を変形(斜体、平体、長体など)してはいけない



マークとロゴタイプを上下に配置してはいけない



マークに指定色以外の色を使用してはいけない



ロゴタイプに他の色を使用してはいけない



ロゴタイプは移動してはいけない



クリアスペース内に他の文字要素を使用してはいけない



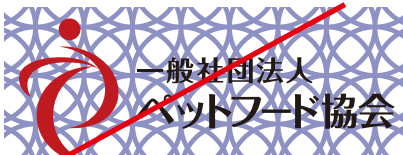
クリアスペース内に他のデザイン要素を使用してはいけない



アウトラインにしてはいけない



マークをグラデーションにしてはいけない



背景とのバランスにおいて独自性を弱める表現をしてはいけない

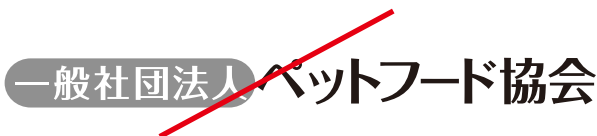


ロゴタイプの書体を変えてはいけない



マークとロゴタイプの比率を変えてはいけない

■ロゴタイプ使用禁止例（※英文ロゴタイプの場合も同様の禁止例です。）



部分的にロゴタイプを白抜きにしてはいけない



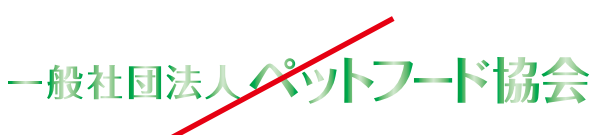
ロゴタイプを変形(斜体、平体、長体など)してはいけない



ロゴタイプに他のデザイン要素を入れてはいけない



マークとの組合せでロゴタイプを1行にしてはいけない



グラデーションにしてはいけない



ロゴタイプの大きさの比率を変えてはいけない